

感染症発生動向調査情報 (週報)  
第46週 (2001年 11月 12日 ~ 11月 18日 )

[ 県内情報 ]

2001年第46週の感染症発生動向調査による報告患者総数は399人で、前週比:+5.8%(+22人)と引き続き増加した。

感染性胃腸炎(ウイルス)は引き続き増加し、2週間で報告患者数は倍増した。例年、12月下旬から1月にかけて報告患者数は多くなるため、今後も増加傾向は続く予想される。今週は、土庄地区、丸亀地区などで大幅に増加した。

再び増加の兆しを見せている流行性耳下腺炎は、今週の報告患者数はわずかに減少したものの、丸亀、琴平地区からの報告は依然として多い。

大内地区からの水痘の報告が今週大幅に増加し、流行発生注意地区となった。同地区では今後の発生動向に注意が必要である。

中部、観音寺地区で手足口病の定点当たりの報告が多い。

[ 内科・小児科上位5疾患の発生動向 ]

1. 感染性胃腸炎(ウイルス)は前週比:+19.7%(+29人)と増加した。
2. 手足口病は前週比:-12.3%(-10人)とやや減少した。
3. 水痘は前週比:+84.0%(+21人)と増加した。
4. 流行性耳下腺炎は前週比:-8.2%(-4人)とほぼ横這いであった。
5. 突発性発疹は前週比:-8.7%(-2人)とほぼ横這いであった。

[ 内科・小児科 今週の上位5疾患 (香川県の一定点あたり) ]

1. 感染性胃腸炎(ウイルス) [ 5.50 人 ] 【前週比 +19.7 %】
2. 手足口病 [ 2.22 人 ] 【 -12.3 %】
3. 水痘 [ 1.44 人 ] 【 +84.0 %】
4. 流行性耳下腺炎 [ 1.41 人 ] 【 -8.2 %】
5. 突発性発疹 [ 0.66 人 ] 【 -8.7 %】

疾病名	患者数		保健所別患者数内訳									
	今週	前週	高松市	大内	土庄	中部	坂出	丸亀	琴平	観音寺		
咽頭結膜熱	報告数 3	3	0	0	0	0	0	3	0	0		
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	報告数 7	11	0	0	0	4	1	1	0	1		
感染性胃腸炎(ウイルス)	報告数 176	147	18	15	23	11	22	54	18	15		
感染性胃腸炎(細菌)	報告数 5	10	0	0	1	0	0	4	0	0		
水痘	報告数 46	25	4	20	1	0	3	7	8	3		
手足口病	報告数 71	81	15	7	0	12	3	14	7	13		
伝染性紅斑	報告数 17	16	2	1	0	1	4	9	0	0		
突発性発疹	報告数 21	23	5	1	0	3	3	3	1	5		
百日咳	報告数 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
風疹	報告数 1	0	0	1	0	0	0	0	0	0		
ヘルパンギーナ	報告数 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
麻疹(成人麻疹を除く)	報告数 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
流行性耳下腺炎	報告数 45	49	11	1	0	2	0	15	11	5		
急性出血性結膜炎	報告数 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
流行性角結膜炎	報告数 6	12	0			5				1		
インフルエンザ	報告数 0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
急性脳炎(日本脳炎を除く)	報告数 0	0	0	0	0				0	0		
細菌性髄膜炎(真菌性を含む)	報告数 0	0	0	0	0				0	0		
無菌性髄膜炎	報告数 0	0	0	0	0				0	0		
マイコプラズマ肺炎	報告数 1	0	0	0	0				1	0		
クラミジア肺炎(オウム病は除く)	報告数 0	0	0	0	0				0	0		
成人麻疹	報告数 0	0	0	0	0				0	0		
計	報告数 399	377	55	46	25	38	36	110	46	43		

[ 県内検査情報 ]

<細菌> 分離数 検体 検体採取日 地区 病名  
Streptococcus A群 T12 1 咽頭 8/27 三豊 溶連菌感染症

<ウイルス> 分離数 検体 検体採取日 地区 病名  
HSV-1 2 咽頭 10/24、11/2 土庄 ヘルペス性歯肉口内炎

[ 県内気象情報 ]

平均気温 ( °C ) 平均湿度 ( % ) 備考:日本気象協会高松支部  
12.5( 13.2 ) 66.9 発行の気象週報により

更新日 01/11/22  
名前 C97-2360